

施策分析シート

No1

施策名	効率的な財政運営	施策No	16-02	部課名	総務企画部財政課		
				課長名	塩田 孝一	内線	2120
関連部課名	総務企画部総務企画課						
行政評価 事業体系	分野	区政推進					
	政策	効果的・効率的な区政の推進					
目的	複雑化・多様化する区民ニーズに的確に応える行政サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、簡素で効率的な財政運営を行い、財政基盤の強化を図っていく。						
指 標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
	①	経常収支比率	78.6%	75.9%	—	75.0%	経常経費充当一般財源／経常一般財源総額×100
	②	公債費比率	7.9%	7.7%	—	7.0%	地方債元利償還額／標準財政規模等×100
	③	起債残高	36,011,004	33,342,449	31,456,351	18,000,000	単位：千円
	④	基金残高	17,509,766	20,623,540	20,157,778	21,000,000	単位：千円
⑤							
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまで行政改革の推進や事務事業の再点検・再構築に全庁を挙げて積極的に取り組んできた結果、17年度予算、18年度予算と2年連続で財政調整基金等の取崩しといった特別な財源対策をとらずに収支均衡型の予算を編成することができ、財政の健全化に一定の成果を上げている。 ○ 今後、少子高齢化に伴う福祉関係経費の増加や学校施設等の社会資本の整備更新などに多額の財源の必要が見込まれるため、将来の行政需要を十分に把握し、基金及び起債の計画的な運用の下、簡素で効率的な財政運営を行っていく必要がある。 ○ 総務省から示された指針により、12年度から普通会計をベースにした財務諸表（バランスシート、行政コスト計算書）を作成し、公表を行っている。 						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区民ニーズに的確に応える行政サービスを安定的かつ継続的に提供するとともに、将来見込まれる行政需要にも適切に対応していくため、19年度以降の予算編成においても引き続き、収支均衡型の予算を目指していくとともに、基金及び起債については、中長期的な視点に立った計画的な運用を行っていくことで、景気の動向に左右されにくい強固で弾力的な財政基盤の構築を図っていく。 ○ 総務省指針に基づく財務諸表の作成改善に努めるとともに、新たな公会計制度については、国や都、公会計改革研究会の動向を見極めながら、調査研究を進めていく。 						

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	引き続き簡素で効率的な財政運営と中長期的な視点に立った計画的な運用を行う。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
区債元利償還金（一般会計）	01-03-01	8,480,331	5,030,307	A	効率的な財政運営を行うため、優先度は高い
公債諸費（支払・発行手数料、償還公告料）	01-03-02	3,078	3,961	C	必要経費を計上していく
基金費	01-03-03	786,932	4,839,826	A	効率的な財政運営を行うため、優先度は高い
公会計制度調査研究	01-03-05	—	—	B	資産、債務、コストを示し、財政状況を明示する
合 計		9,270,341	9,874,094		